

わたしから始める、世界が変わる

Hunger Zero News

2020. 8
No.361

ハンガーゼロ・ニュース

1分間に17人 (内12人が子ども)
1日に2万5,000人が
1年間では約1,000万人が
飢えのために生命を失っています



「コロナウイルスの脅威が過ぎ去ることを
祈り信じて、互いに助け合っていきましょー」

Contents

見えない新型コロナウイルスとの戦い④ P.2-3

各国の現状と取り組み、小西ボリビア連載

10月16日は世界食料デー P.4-5

様々な形で開催、岡山で高校生の大会

国際協力 WEB セミナー好評開催中 P.6

南九州豪雨 パンの缶詰2万食輸送 P.7

COVID-19 「緊急救援募金」受付中

世界で感染が広がる新型コロナウイルスの影響は、ハンガーゼロの支援地の人々の暮らしに深刻な影響を与えています。各国の現状や取り組みを報告します。



FH= 国際飢餓対策機構

見えない恐怖…新型コロナウイルス (COVID-19) との戦いの中で④

ボリビア…生活困窮家庭に食料品と感染予防キット

ボリビアのコロナウイルス感染者(累計)は7月15日には52,218名(死者1,942名)、連日1200~1500人程の新規感染者が出る状態です。FHボリビアのコチャバンバ事務所では、支援地域の中でも特に貧しい家族に基本的な食料パックを4月に140家族、5月には別の地域の100家族、また6月にはさらに641家族(計881家族)に配布しました。受け取りに来た方のほとんどが日当仕事のために収入がなく食べ物もない状態でした。食料の袋には励ましの言葉も添えられていて、涙ながらに感謝される方もありました。受け取られた方々にCOVID-19予防対策の講習をして地域の他の方々に伝えてもらうよう依頼しています。また6月から支援地域の生活困窮家庭に「基本食料品とコロナ感染予防保健衛生キット」1パック(100ボリビアノス=約1560円)を最低でも3,000パック配布する募金キャンペーンを実施しています。

(報告・小西スタッフ ※右頁の連載特別編にも記事)

コンゴ民主共和国…首都での感染増加傾向続く

7月14日現在の感染者8,074人、首都のキンシャサだけで6,878人、感染者は日々増加傾向にあります。地域経済の悪化から政府はゴムベ州のロックダウン中止を決定しました。キンシャサでも、バー、教会、スタジアム、学校、中央市場以外は6月29日に解除。一方7月15日現在の西部でのエボラ熱は52件で21人が死亡しさらに拡大の懸念があります。ハンズ・オブ・ラブ・コンゴは政府からの情報が入らない、あるいは字を読めない支援地域の人々に、ソーシャル・ディスタンス、マスクやスカーフで鼻や口を覆うことなどコロナウイルスの予防方法を伝える努力と共に、蛇口が付いたバケツを配布して手洗いを勧めています。(報告・ジェロームスタッフ)

バングラデシュ…拡声器やパンフで予防の啓発活動

コロナのためにコミュニティの市場が閉鎖され、交通も遮断されて農業ができず野菜も台無しになっています。人々は仕事を失い、小規模事業の活動も停止、多くの人々が日雇いのために収入が途絶えました。収穫の時期に畑で働くすべもな

く人々は非常に苦しい生活を強いられています。

FHスタッフはコミュニティの人々に直接会うことができなかったため、携帯電話で母親のリーダー、貯蓄グループのメンバー、コミュニティ開発センターのリーダー、ボランティアグループのメンバーたちと連絡を取りながら、コロナウイルスの予防方法についての情報を共有しました。そして拡声器を用いてコミュニティの11,590人に予防のメッセージを伝えることができました。また予防方法を書いたパンフレットを配布したりポスターを貼るなどして、予防の啓発を行いました。また困難な中にある300世帯に米5キロ、レンズ豆1キロ、塩1キロ、食用油1リットル、石鹼を配布、またコミュニティ開発センターの受益者274名に衛生キット(石鹼2個、洗剤)を配布しました。

ケニア…子どもたちに手洗いの訓練、一部食料支援も

ケニア全体で感染拡大が続いており、感染者数は10,000人で、ハンガーゼロの支援コミュニティでは18名が感染しています。FHケニアは支援地のブウリサブカウンティでコミュニティの保健推進員90人へのトレーニングと防護用品の支援。家庭訪問時には子どもたちにコロナとその予防方法について話しをし、石鹼を提供しました。また400人の子どもが参加する健康クラブで手洗いのデモンストレーションとトレーニングを実施しました。コロナによる移動制限の影響を受けて貧困の度合いがさらに深刻になった世帯への食料の支援も行っています。

インドネシア…農業グループが収穫から地域を支援

FHインドネシアが栄養食品バスケットのプロジェクトを実施されている地域において、このプロジェクトの一環としてトレーニングを受けた農家グループが、隔離措置が取られている間も、学んだことを活かして養鶏を続け、様々な野菜を生産して地域の人たちに販売し続けました。島全体で食料品が品薄となる中、農業グループが卵と野菜を地域の人たちに供給することができました。



コロナ感染から守る「緊急救援募金」を継続いたします!!

募金は、郵便振替又はウェブサイトからクレジットカード決済が利用できます。
ウェブサイト <https://www.jifh.org> ※ハンガーゼロで検索又は右QRコードから
郵便振替 00170-9-68590 日本国際飢餓対策機構 ※記入欄に「緊急救援募金」と明記
募金集計: 6月末時点で約370万円、皆さまの応援を心より感謝いたします。



スマホから募金ページに

連載〈16〉

特別編

ラテンアメリカの人々とともに

「サユリ、COVID-19であの人が亡くなった!」「今朝パブロさんも亡くなった」そしてその翌朝、私の友人の兄がコロナで死亡、そして別の知人が感染したとの連絡が立て続けに入ってきました。今年初頭には予想も出来なかったウイルスが猛威を振るい、現在ボリビアではこのような状況が毎日のように起こり、ブラジルやペルー他、南米ではコロナの感染者が爆発的に増加しています。

国境完全封鎖を継続中

ボリビアでは3月22日時点の感染者27人が、7月15日には感染者52,218名と急増し続けています。現在ここコチャバンバでも死者を埋葬するスペースが不足して(基本的に火葬せず埋葬する習慣)大変困っています。またコチャバンバ市の路上で亡くなるホームレスの方たちが、以前は1日6人程度だったのが7月に入り14~16人にもなる状態です。

外出禁止令や感染防止のルールを守らない人が多く、警察、軍隊や医療従事者の方たちが次々と感染し、亡くなる人が後を絶ちません。その為に現在も国境完全封鎖(ロックダウン)状態で、県や地域別に外出禁止令が継続され、特に日当仕事の



近距離を外出する時の服装

封鎖継続により貧困層はさらに生活困窮

ボリビアで一気に感染拡大

新型コロナウイルス



ボリビア多民族国
駐在 小西小百合



方々は仕事ができなくて経済的に困難を極めています。私の知人やFHB(注1)スタッフの家族・知人で死亡した人々、感染して受け入れ病院や血漿を求める人々の情報が毎日のように入ってくるため、心が痛むと共に常に緊張状態にあります。「血漿を2,000米ドルで売る」という人々まで出てきました。私たちはお互いに祈ると共に個人的にもできる限りの支援協力に努めています。

支援地域での食料不足87%

私たちスタッフが支援地域の人々を励まし、彼らの現状・必要・課題等を知る為に携帯でのインタビューを実施した結果、87%の人々が食料不足状態であることがわかりました。そこで4~6月にFHB支援地域の極度の貧困



家庭2,022戸に基本食料品の緊急支援とコロナ感染予防の講習会を実施しました。しかしこの資金も底をついてきた為6月からボリビアで募金集めのキャンペーンを行っています。

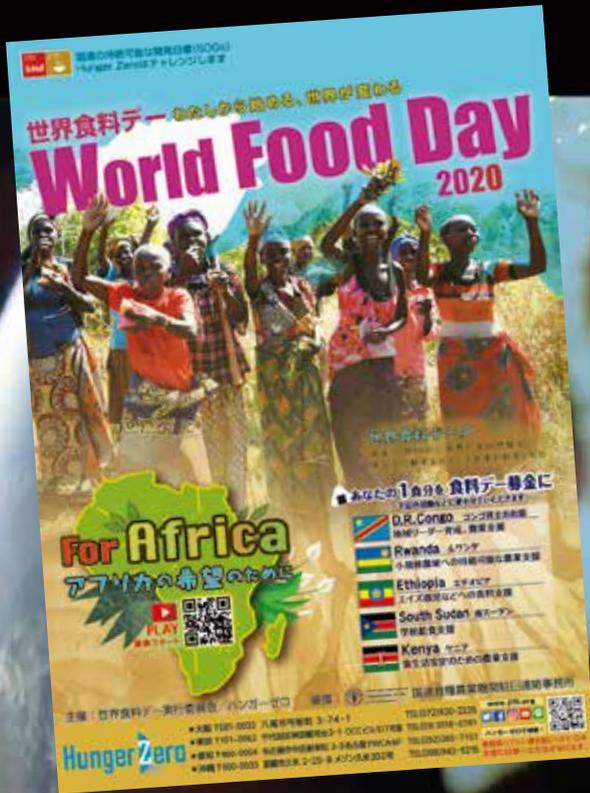
またハンガーゼロが支援しているアサワニセンターの保健診療所へコロナ予防対策の物資(写真④)を支援した他、今後の活動計画の見直しも早急に進めています。コロナが一刻も早く収束するように、さらに私たちスタッフの健康が守られ真に現地の人々の必要に応えることができるように、お祈りとご支援を宜しくお願い致します。

(注1) 国際飢餓対策機構ボリビア

10月16日は「世界食料デー」

～わたしから始める、世界が変わる～

今年の食料デー大会は、新型コロナの影響でいつもと違う形になります。現地報告や講演の動画を用いた小規模の集会をあちこちで開いたり、オンラインでの集会を活用する大会もあります。形は違っても世界の飢餓や貧困をなくそう！特にコロナ感染でさらに苦しんでいる支援地を例年以上に応援したい！そんな思いの中で2020年大会の準備が各地で進んでいます。



チラシとポスターは8月から配布を始めます



世界食料デー紹介動画

今年はアフリカ5カ国を支援します

- (1) コンゴ民主共和国：地域リーダー育成、農業支援
- (2) ルワンダ：小規模農家への持続可能な農業支援
- (3) エチオピア：エイズ孤児などへの食料支援
- (4) 南スーダン：学校給食支援
- (5) ケニア：食生活安定のための農業支援

コロナ禍でのWFDとして…

様々な形で継続される各地の大会

コロナ以前には昨年同様、全国約30カ所で計画されていた「世界食料デー大会」でしたが、今年は大規模なイベントはできなくなりました。そうした中、感染防止対策をし人数も制限して行われる大会が11カ所（右記参照）、オンラインを利用したり小規模集会を複数開き募金をつくる集会が11カ所、大会中止2カ所、未定が6カ所あります。（7月20日現在）

大会開催に代えて10月を食料デー月間に！ いくつもの小集会で募金を呼びかけ

「10月を世界食料デー月間にしよう！」これまでのような大会はできなくても地域でいくつもの小集会を開き、そこでビデオなどの動画を用いて支援地報告や飢餓の現状を紹介して、募金を呼びかけようと、札幌、南大阪など約10カ所の大会が、準備を進めています。



2019 東大阪大会



2019 宮古大会



大会	開催日
仙台	10月17日(土)
浜松	10月17日(土)
京都	10月25日(日)
東大阪	10月21日(水)
岡山	10月25日(日)
八重山	10月9日(金)
宮古	10月11日(日)
久米島	10月15日(木)
沖縄北部	10月17日(土)
沖縄南部	10月18日(日)
沖縄中部	10月25日(日)

(7月20日現在) ※岡山での大会は右頁参照

「高校生による世界食料デー大会」が岡山に誕生!



チラシのデザインを検討中



プレゼン会場での打ち合わせ

スクールアンバサダー 第1期モデル校 岡山・創志学園高等学校



スクールアンバサダーの高校生たちが中心となって、世界の貧困と飢餓について発表し合う「世界食料デープレゼン大会」を10/25(日)開催。岡山県内の高校に呼びかけて参加者募集中です。

お申し込みフォームはQRコードから▶

※コロナの状況によりオンライン開催となる可能性もあります。



コロナ禍でのチャレンジ【その1】

現地報告や講演動画を用いた小集会を開こう!

アフリカから現地報告者としてFHルワンダのアリス代表を予定していましたが、ビデオメッセージによる報告となりました。また現在日本にいますコンゴ民主共和国出身のジェロームスタッフによるコンゴでの活動報告も動画で準備中です。これらと食料デー講演、親善大使による演奏(準備中)などをまとめた動画をハンガーゼロで制作中です。動画を用いた小規模集会を10月前後に各地で開催してはいかがでしょうか。(詳しくはハンガーゼロまで)



アリス・カマウ ジェローム・カセバ 講演: 田村治郎/他 音楽: 親善大使

コロナに苦しむ支援地を励まそう

目標は1,500万円!

コロナの蔓延によって明らかにされたのは、その国や社会の最も弱い人々に更にしわ寄せが行くということです。ウイルスの脅威に加えて社会封鎖(ロックダウン)やソーシャルディスタンスの影響で、元々貧困にあえいでいた私たちの支援地の人々が悲鳴を上げています。ぜひ食料デーを機にご協力をお願いします。

※昨年の募金額は1,306万円でした。9月号で詳しく報告します。

コロナ禍でのチャレンジ【その2】

オンラインWFDイベントに参加してみよう!

全国どこからでも参加できるオンラインでの世界食料デーイベントを企画しています。若者を中心としたYouTubeイベント(10/16金夜)と、Zoomによるオンラインセミナー形式のトークイベント(9/19と10/10の2回開催予定)です。食料デーの意味を広く多くの方に知って頂き、各地での集会につないでいく機会としてお使い下さい。(詳しくはハンガーゼロまで)

※YouTubeチャンネルにご登録下さい。「hungerzero」(10月までに現在332人→1000人を目標としています)



YouTubeチャンネルより



世界食料デー2020紹介動画



昨年の食料デー募金によりケニアの学校に設置された貯水タンク

ロングライフは、**「ヘルス&ナチュラルビューティ」**みなさまに「健康」で「美しい」人生を送っていただくためのラグジュアリーなサービスをご提供いたします。

- 私生活を健やかに愉しむ。**好きなことを楽しんでいただくために、パーソナルな健康管理メニューなどで一人ひとりの健康を日本サポート。
- 食から人生をより豊かに。**毎日の食育を促す美味しい料理は、最新の先端医学に基づいたメニュー。人生100年時代のための食事をどうぞ。
- 年齢を重ねてこそ美しく。**いつまでもご自身らしく輝き続けるために、パーソナル美容ケアプログラムなどで人生そのものを、もっと楽しく美しく。

ロングライフで、**もっと素適に! ずっと楽しく!**

Health & Natural Beauty.

皆様へのセカンドライフに寄り添い35年 35

私たちロングライフグループは、ハンガーゼロの活動を応援しています。

国内外268のサービスステーションを展開
人生は、まだまだ素適になる。

ロングライフグループ Resort & 2300 LongLife

大阪本社: 〒530-0015 大阪市北区中崎西2-4-12 梅田センタービル25階
東京本社: 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階

☎ 0120-550-294

※「協賛広告」を募集しています。ウェブにも掲載。詳しくは大阪事務所まで



「国際協力WEBセミナー」好評開催中!

オンラインだから自宅で学べます。今からでも参加OK

啓 発事業部（東京事務所）では、コロナ禍での新たな試みとして、オンライン会議アプリのZoomを活用「国際協力WEBセミナー」を6月からスタートしています。セミナーでは「飢餓とは何か」「どうして飢餓が起こるのか」、また行動していくための「仕える人となる」について学び、世界の物心両面の飢餓を終わらせるために自分にできることを考えます。参加者は国際協力に関心のある10代から40代までと幅広く、毎回質疑応答やグループディスカッションもあり楽しく学んでいます。講義は、啓発部門のスタッフとともにフィリピンやアフリカの駐在員も加わり、支援地の現状や専門的見地から話を聞くことができます。セミナーは、フェーズ1・2・3（最終9月中旬まで）とあり、毎週火・木・金曜日の午後7時半から9時まで(90分)となります。

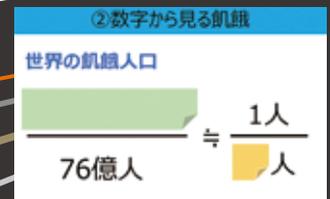
現在フェーズ2が行われていますが、途中からでも参加可能ですので、関心をお持ちの方は東京事務所まで電話やメールでお問い合わせください。

東京事務所… 電話：03(3518)0781 メール：tokyo@jifh.org

担当：鶴若・中村



参加者の声



●木藤幸恵さん 自分がすべき事は何か

子育て中なので Zoom で受講することができ、感謝しています。世界の飢餓の現状や支援者として現地はどう関わっていくべきかなど幅広い内容の講義を聖書的な視点も含めて学ぶ事はとても新鮮でした。「飢餓は自己中心や貪欲など人間の不義から始まる」という言葉が印象に残っています。自分がすべき事は何か祈りつつ学びをすすめていきたいと思います。

●三木由美さん 良き隣人であることこそ

本セミナーでは大学院で学んだ「支援活動」について、村人が自らの持っているものに気づき、エンパワーされて自立へと導かれる一連のプロセスを学びたく参加しました。しかし最も重要なのは、聖書が語るように、すべての人間は尊厳を持っており、一人一人が良き隣人として共に生きるように求められているのだということを深く知り、自分の中で多くの気づきや感動が与えられました。何度も繰り返し反すうしたい内容です。



●浅倉千鶴子さん 無関心をやめる事から

「豊かさとは何か?私が生かされている意味とは?」世界が揺り動かされている今、人生半ばに差し掛かる自分に問いたく参加しました。一時間半を週3回は多いようでアツと言う間。時折難解な用語も出ますが、飢餓の本質は愛の欠落、不義の問題。まずはシンプルに私が今、無関心をやめる事が第一歩と理解し、楽しく学んでいます。

●今井裕也さん 改めて活動の大切さ知る

ハンガーゼロが大切にしている、現地の方々自らが気づき、働き、変革していくこと、そして将来に残る自立開発支援をするために払うスタッフの尊い努力に触れることができ、改めて活動の大切さを噛み締めました。例年だと合宿などでしか知りえないであろうことをオンラインで知る機会ができたのは、厳しい情勢下にある恵みだと思えます。

この度の豪雨災害で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます



南九州豪雨被災者にパンの缶詰 2万食緊急輸送 パン・アキモト、NPO九州キリスト災害支援センターと連携

ハンガーゼロは7月6日、九州南部地方（鹿児島北部および熊本南部）で被災されている方々への緊急支援として、パン・アキモト（関西営業所）から提供された「パンの缶詰」（約11,500食分）を4トントラックで熊本に輸送しました。

パンの缶詰は、被災者支援活動を行っている「NPO法人九州キリスト災害支援センター」（九キ災）の熊本ベース（益城町木山）に到着後、九キ災を通じて被災地の避難所や被災者に個別に配布されました。

ハウステンボスの備蓄缶1万人分も輸送

また長崎県にあるテーマパーク「ハウステンボス」が、備蓄しているパンの缶詰（パン・アキモト製[®]写真）約1万食分を九州キリスト災害支援センター（九キ災）に提供してくださることになり、14日午前、ハンガーゼロが手配したトラックで九キ災として被災者支援活動をしている、有明バイブルチャーチ（同荒尾市）に運び、そこから被災され

た方々に配布されました。

今回の支援は、パン・アキモトからの呼びかけにハウステンボスが即応し実現したもので、ハンガーゼロの被災者支援としては、7月6日のパンの缶詰1万1千食輸送（九キ災向け）に続き第2回目となります。

なお現地のコロナ感染予防対策に配慮してハンガーゼロの緊急援助班からの人材派遣は当面は控え、九キ災の緊急支援活動をサポートして被災者支援を行っていく予定です。但し、今後の被災状況により対応が変わる場合もあります。（写真協力：九州キリスト災害支援センター）



ナックスがコロナ禍のタンザニア・ザンジバルの子どもたちにTシャツ約5千枚を届ける

アフリカでも有数の大自然に恵まれた国タンザニアの沖、インド洋に浮かぶザンジバル島は美しい海岸で有名ですが、住民の多くは1世帯あたり1日2ドル以下で生活し、病院に行くこともままなりません。

130万人近くが住むこの島でも、これまでに134人がコロナウイルスに感染し6名が死亡したそうです。学校は休校、仕事も休業のため生活はととても厳しい状態です。子どもたちも多数集まることができないので、個別にシャツを着た写真が送られてきました。

シャツをご提供くださった株式会社ナックス様に感謝申し上げます。



備蓄をしながら社会貢献



世界にパンを届けよう

救缶鳥
Kyu-Can-Cho

皆様から回収された救缶鳥は各地に飛んでいきました！

食料が不足している、国内外の豪雨・地震等の災害被災地や、海外の飢餓地域等へ送られました。



おいしさと夢をお届けします。

株式会社パン・アキモト

パンの缶詰
since 1995

〒329-3147

栃木県那須塩原市東小屋295-4

TEL 0287-65-3351

パン・アキモト



ハンガーゼロ(日本国際飢餓対策機構)は、イエス・キリストの精神に基づいて活動する非営利の民間海外協力団体(NGO)です。1981年に誕生して以来、世界の貧困・飢餓問題の解決のために、自立開発協力、教育支援、緊急援助、海外スタッフ派遣、飢餓啓蒙を行っています。現在は、国際飢餓対策機構連合(Food for the Hungry International Federation)の一員として、18か国60のパートナー団体と協力し、アジア、アフリカ、中南米の開発途上国で、「こころからだの飢餓」に応える活動をしています。



新商品です

美味しいフレーバーティー

南インド ケララ州で栽培された紅茶。標高 2,000m で収穫された茶葉を使用した優しい味わいのフレーバーティーです。

5種類セットで税、送料込み 1,800円 でポストにお届け。(ティーバッグ 2g入り×各10包)
①マサラティー ②ジンジャーティー ③バニラ ④カルダモンティー ⑤シナモンティーの5つの風味をお楽しみください。

収益の一部をハンガーゼロに募金させていただきます。

お申し込み、お問い合わせ:

(株)キングダムビジネスで検索

電話: 06-6755-4877

FAX: 06-6755-4888

でも承ります

スマートフォンは

QRコードから▶

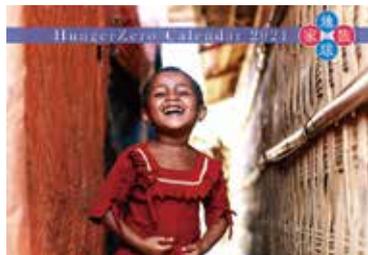
【お支払い方法】

当社指定口座へ 後払い

郵便振替 00950-0-216776

(株)キングダムビジネス

●次号で案内します!



2021年版 国際協力カレンダー

インスタキャンペーン

#世界たべもの日記

世界食料デーに向け

て、ハンガーゼロのイン

スタグラムで、各国

各家庭で食べられている食事や、

食材・食品の豆知識などをご紹介

します。この世界の食事・食べ

物の奥深さをぜひ一緒に味わっ

てみてください!

(期間: 6月16日~10月16日)



引っ越しや家財整理の際は 本 de リンクを活用ください 支援になります

愛知事務所では、送られた本やCD・ゲームソフトを換金して、飢餓・貧困に苦しむ人々の支援に使わせて頂いています。お送りの際は元払いで送料のご負担をお願いいたします。(運送会社の指定はありません)

*以下のものは不可となります。状態の悪いもの(破れ、汚れ、書き込み、CD 類ケース割れ、ジャケット・歌詞カード不備など)、非売品・個人製作/出版など、週刊誌全般、百科事典、海賊版、カセットテープ・レコード・VHS ビデオテープなど。

ご不明な点がある場合は…
愛知事務所にお問合せください。

Child Supporter

チャイルドサポーター



お申し込みや資料請求はスマホでQRコードでサイトまで

ルワンダで支援活動を開始! チャイルドサポーター募集中

お電話でも受付ます 直通TEL072-920-2226



▲学校トイレが少ないために順番に並ぶルワンダの子どもたち

サポーターお申し込み欄 FAX072-920-2155

※記入後にスマホで撮影し、下記メールアドレスにお送り頂いても受付いたします。

氏名	
(TEL)	
住所	〒
申込日	年 月 日 NL 361号

<input checked="" type="checkbox"/>	下記から希望されるものをお申し込みください
<input type="checkbox"/>	ハンガーゼロサポーターとして協力します。 ①毎月 () 円 (1 円 1,000 円) ②一時募金として 円協力します。
<input type="checkbox"/>	継続募金(JIFH サポーター)として協力します。 毎月 () 円 (1 円 500 円)
<input type="checkbox"/>	チャイルドサポーター(子ども1人毎月 4,000円)の説明書(申込書)を送ってください。
<input type="checkbox"/>	郵便自動引落とし申込書を送って下さい。
<input type="checkbox"/>	その他の銀行自動引落とし申込書を送って下さい。

上の申込書をコピーして必要事項を記入の上、FAXまたは郵送にて大阪事務所までお送りください。届きましたら確認書類等を送らせていただきます。お電話やウェブサイトでも申し込みできます。

Hunger Zero サポーター 現在...4838口

■発行者 清家弘久

■発行所 一般財団法人 日本国際飢餓対策機構



Webサイトアドレス <http://www.hungerzero.jp>
eメールアドレス general@jifh.org
フェイスブック facebook でハンガーゼロで検索

■募金方法 ※各種方法で随時受付中、詳しくは電話やウェブサイト
①郵便振替 00170-9-68590 一般財団法人日本国際飢餓対策機構
②他の金融機関からの自動振替③クレジット、デジタルコンビニ



大阪 〒581-0032 八尾市弓削町 3-74-1
(広島) TEL (072)920-2225 FAX (072)920-2155
東京 〒101-0062 千代田区神田駿河台 2-1 OCCビル 517号室
(東北) TEL (03)3518-0781 FAX (03)3518-0782
愛知 〒460-0004 名古屋市中区新栄町 2-3 名古屋YWCAビル 6F
TEL (052)265-7101 FAX (052)265-7132
沖縄 〒900-0033 那覇市久米 2-25-8 メソソク米 202号
TEL (098)943-9215 FAX (098)943-9216
USA Ainote International c/o Mr. Takehiko Fujikawa
8010 Phaeton Dr. Oakland, CA94605
TEL(510)568-4939 FAX(510)293-0940



Hunger Zero



JIFH



チャイルドサポーター